

教育民生委員会記録

開会年月日	令和2年10月13日
開会時刻	午前11時36分
閉会時刻	午前11時46分
出席委員名	◎福井輝夫 ○吉井詩子 中村 功 上村和生
	北村 勝 野崎隆太 吉岡勝裕
	世古 明 議長
欠席委員名	
署名者	中村 功 上村和生
担当書記	野村格也
審査案件	議案第96号 令和2年度伊勢市一般会計補正予算(第8号) (教育民生委員会関係分)
説明員	教育長、事務部長、学校教育部長、スポーツ課長
	ほか関係参与

審査経過

福井委員長が開会を宣告し、会議成立宣言の後、会議録署名者に中村委員、上村委員を指名した。その後、直ちに議事に入り、本日の本会議において審査付託を受けた「議案第96号 令和2年度伊勢市一般会計補正予算（第8号）中、教育民生委員会関係分」を審査し、委員長報告文の作成については正副委員長に一任することで決定し、委員会を閉会した。

なお、詳細は以下のとおり。

開会 午前11時36分

◎福井輝夫委員長

ただいまから教育民生委員会を開会いたします。

本日の出席者は全員でありますので、会議は成立しております。

これより会議に入ります。会議録署名者2名は、委員長において中村委員、上村委員の御両名を指名いたします。

本日、御審査願います案件は、「議案第96号 令和2年度伊勢市一般会計補正予算（第8号）中、教育民生委員会関係分」であります。

お諮りいたします。審査の方法については委員長に御一任願いたいと思いますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎福井輝夫委員長

御異議なしと認めます。そのように取り計らいをさせていただきます。

また、委員間の自由討議については、申し出がありましたら随時行いたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

【議案第96号 令和2年度伊勢市一般会計補正予算（第8号）（教育民生委員会関係分）】

◎福井輝夫委員長

それでは、「議案第96号 令和2年度伊勢市一般会計補正予算（第8号）中、教育民生委員会関係分」を御審査願います。

補正予算書の16ページをお開きください。款3民生費を款一括で御審査願います。御発言はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎福井輝夫委員長

御発言もないようでありますので、款3民生費の審査を終わります。

次に、22ページをお開きください。22ページから25ページの款11教育費を款一括で御審査願います。

御発言はありませんか。

吉岡委員。

○吉岡勝裕委員

少しお聞かせいただけたらと思います。今回、いろんな施設でですね、新型コロナ対策ということで、オートディスペンサー、またサーモグラフィカメラというものを幾つか購入するということでもありますけども、その施設の選定を幾つかしていただけてますけども、中にはもう少し小さい体育館であったりとかってということもあろうかと思えます。環境改善センターであったり、北部児童体育館であったり、その辺のちょっと選定のした経緯についてお聞かせいただけたらと思います。

◎福井輝夫委員長

スポーツ課長。

●沖塚スポーツ課長

今回、選定をさせていただきました施設、特にスポーツ施設、体育館等についてのお尋ねやたと存じますが、特に市外の方の利用が多い施設、また大会等が頻繁に開催される施設という形で選定をさせていただいたところでございます。以上でございます。

◎福井輝夫委員長

吉岡委員。

○吉岡勝裕委員

はい、分かりました。あともう一つは、今回の補正でですね、いろんなところでこのオートディスペンサーとサーモグラフィカメラを購入するわけですが、全部合わせるとディスペンサーが51台、サーモグラフィカメラが15台になるのかなと、ちょっと足し算をしてみました。それぞれの課で入札をするのではなくて、できれば一括購入するような工夫等もしてはどうかなと思うんですけども、その辺はどのように考えているのかお聞かせください。

◎福井輝夫委員長

スポーツ課長。

●沖塚スポーツ課長

この予算のほうですね、お認めいただきましたならば、一括購入の方向でですね、調整していきたいと、このように考えております。以上でございます。

◎福井輝夫委員長

吉岡委員。

○吉岡勝裕委員

分かりました。ありがとうございました。

◎福井輝夫委員長

ほかに御質問ございませんか。

野崎議員。

○野崎隆太委員

ちょっと、この教育のどこ全体でお伺いしたいんですけども。これ、決算のときにも少しお話をさせていただいたところですけど、今回の事業に対して、今回のものそのものに不満があるわけじゃないんですけども、選定の今回、感染対策防止ということで、先ほど課長からは市外の方が多く利用するような施設というような話があったけども、小学校とか中学校の水栓化は全然進んでないという話が決算の答弁であったような気がします。で、優先順位として、クラスターとかが起きる可能性はそれこそ小学生とかのほうが多いわけで、何でこの施設の選定をして、小学校がまだ進んでないのかっていうのをちょっとその辺り優先順位なのか、どういう整理のつけ方をするのか、今後どうしていく予定なのかをちょっとお聞かせをください。

◎福井輝夫委員長

教育事務部長。

●鈴木教育事務部長

はい、すいません、ただいまの御質問にお答えします。小中学校に関しましては、委員おっしゃっていただいたように、外部の方が入ってきていただくということは少ない環境になっているかと思えます。子供たちに関しましては、体温を自分で家で測ってきて、入口で消毒をして中に入ってきていただくというようなことになっております。ですので、今回、本当に不特定多数の方が使用する場所というところで、いろんな施設から始めていこうとしているところでございます。また、これまでの補正予算の中で、小学校、中学校の感染防止対策に関しましては、必要などころから始めているところという状況でございます。おっしゃってもらったように自動水栓とかに関しましては必要に応じて、それぞれの使用方法によっては不向きな場合も考えられますことから、必要に応じてまた状況を見ながら、今回考えております。以上でございます。

◎福井輝夫委員長

野崎議員。

○野崎隆太委員

今の御答弁、そういう形で御答弁をいただいちゃうとあれですけども、でしたら向き不向きのごときは、これコロナの話であれば早期に結論を出すべきだと思うんですけども、どんな議論をされて小学校では不向きだから今導入をするのを遅らせたという話なのか、どんな結論で先に優先しないとなったのかをちょっと教えてください。

◎福井輝夫委員長
教育事務部長。

●鈴木教育事務部長

はい、すいません。不向きとかっていうふうな言い方をしたのはですね、例えばですけども、バケツに水を汲むというふうな作業が必要であったりとか、何かをこう、そこで洗うとかいうことが必要になった場合、自動水栓とかであると止まってしまう、どんどん出てきたほうがいいような、そんな使い方をしたいような蛇口もあるというふうにも考えます。ですので、すべてそういうふうな同じような基準で変えるのではなく、それぞれの必要に応じた対応をしていきたいというふうにご考えているというところがございます。

◎福井輝夫委員長
野崎議員。

○野崎隆太委員

おっしゃりたいことはわかるんですけども、常識的に考えてですけど、小学校の蛇口っていうのはいくつも並列で並んでですね、場合によってはホースがつけばなしの蛇口もあるぐらいで、例えば5個あったうちの三つを変えようという議論ができること自体は全然できる話なので、もうこれ以上は申し上げませんが、ちょっと今の御答弁、僕は違うんじゃないかなと思います。バケツ用の蛇口を逆に置いとけばいいだけの話で、残りをどうしていくかという話なので、今回、その不特定多数の人が利用するからということを書いてあるので、それ自体、事業の目的自体は分からなくてもですけども、実際にクラスターが起きる可能性が高いのはどっちなのかとか、ひょっとするとさっき県外、市外という話がありましたけど、市民を守るのが一つ、僕らの役目かもしれないし、優先順位というのはやっぱりもう少し明確に、何で小学校はつけないのかって言われたときに説明ができるような優先順位をもう少し明確化だけ今後考えていただいたり、小学校もぜひとも進めていただきたいという御意見だけ言わせてもらって、もう結構です。大丈夫です。

◎福井輝夫委員長
他に御発言はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎福井輝夫委員長

他に御発言もないようでありますので、款 11 教育費の審査を終わります。
以上で、議案第 96 号中、教育民生委員会関係分の審査を終わります。
続いて討論を行います。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎福井輝夫委員長

ないようですので、以上で討論を終わります。

お諮りいたします。「議案第 96 号 令和 2 年度伊勢市一般会計補正予算（第 8 号）中、教育民生委員会関係分」については、原案どおり可決すべしと決定いたしまして御異議あ

りませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎福井輝夫委員長

御異議なしと認めます。そのように決定いたしました。

以上で付託案件の審査はすべて終了しました。

お諮りいたします。委員長報告文の作成については、正副委員長に御一任願いたいと思いますが、御異議ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎福井輝夫委員長

御異議なしと認めます。そのように決定いたしました。

以上で、御審査いただきます案件の審査は終わりましたので、これをもちまして教育民生委員会を閉会いたします。

閉会 午前11時46分

上記署名する。

令和2年10月13日

委員長

委員

委員